

避難勧告等の情報にご注意ください

茅野市では、避難勧告等の重要な情報は、防災行政無線等でお伝えしていますが、実際に強い雨が降っているときは、屋外スピーカーの放送はほとんど聞こえません。

このため、現在、補助制度を拡充して「防災行政無線を聞くことができる区内放送」(屋内受信機)の整備を進めています。既に、約60%のご家庭に、この受信機が整備されました(予定を含む。平成29年6月現在)。また、重要な情報は、茅野市ホームページへの掲載や、緊急速報メール(ドコモ・au・ソフトバンク)などでもお伝えします。緊急速報メールは、機種によっては受信できない場合がありますので、お持ちの携帯電話での受信が可能かどうかは、各携帯電話会社でご確認ください。

最新の正しい情報を確認しましょう



大地震が発生した時、大雨が発生した時などは、常に最新の情報を確認しましょう。停電した時に備え、携帯ラジオ等をご用意ください。茅野市近郊で大災害が発生した時は、エルシーブイエフエム(LCV.FM周波数 76.9MHz)が、臨時災害放送局として災害に関する情報をお伝えします。また、茅野市内の最新の降雨状況は、茅野市防災気象情報(<http://www.u-kisho.jp/chino/>)で確認できます。(パソコン、スマートフォン、携帯電話等でご覧になれます。)平成29年3月から、別荘エリアの雨量情報も確認できるようになりました。また、雨量観測所ごとの24時間先までの雨量予測を確認できるようになりました。

災害時の避難のポイント

自主避難について ～危険を感じたらすぐに避難しましょう～

最近頻繁にみられる局地的集中豪雨(通称:ゲリラ豪雨)のように、突発的な異常気象の場合には、市からの避難情報が間に合わないケースもあります。身の危険や異常を感じたら、早めに自主避難しましょう。

いざというときは・・・ ～命を守る最低限の行動とは～

別荘等が「土砂災害特別警戒区域」(レッドゾーン)の中にある方は、多少無理をしても避難所等の安全な場所への避難が必要です。

それ以外の方は、危険な状況が切迫しているときは、避難所等へ無理に避難することより、安全の確保を第一に考えます。安全な場所は指定避難所だけとは限りません。

例えば

- 夜間や急激な降雨で避難路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している(50センチ以上)
- 浸水は20センチ程度だが水の流が速いなどの緊急時には、崖や斜面から離れる(水平避難)、2階などの少しでも高い所へ移動する(垂直避難)などにより助かることもあります。普段から災害の可能性を想定し、命を守るシミュレーションをしておきましょう。



少しでも川・崖より遠くへ



少しでも高いところへ